

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 悪性疾患による消化管閉塞患者に対する症状緩和を目的としたストーマ造設術の検討』
研究機関名 東邦大学医療センター大森病院
研究責任者 一般・消化器外科 職位・氏名 教授 船橋公彦

【研究の目的】

悪性疾患による消化管閉塞では、食事摂取ができないだけでなく腸閉塞に伴う嘔気や嘔吐や腹部膨満といった症状が続いてしまうため、治療法として消化管緩和ストーマ造設が選択されることがあります。しかしながら、消化管緩和ストーマは術後合併症が出現すると日常生活の質の著しい低下の原因につながってしまいます。

そこで、東邦大学医療センター大森病院 一般・消化器外科では、消化管緩和ストーマを後方視的に調査して緩和ストーマ造設術の危険因子を明らかにすることを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、今後の緩和ストーマ管理の向上と患者様の術後生活の質の低下を予防することにつながります。

【研究対象および方法】

この研究は、(東邦大学医療センター大森病院)倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者：2005年1月～2022年12月までに東邦大学医療センター大森病院 一般・消化器外科において、緩和ストーマ造設術を受けたの方。

方 法：診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

【研究に用いられる試料・情報】

試料：なし

情報：病歴、診療の治療歴、検査結果、手術成績(手術時間、出血量など)、合併症の発生状況 等

【外部への試料・情報の提供】

単施設での研究であるために外部への提供はありません。

【研究組織】

代表施設名：東邦大学医療センター大森病院 一般・消化器外科

研究代表医師：船橋公彦 役職：教授

【利益相反について】

本研究に関して利益相反はありません。

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌

等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】 東邦大学医療センター大森病院 一般・消化器外科
職位・氏名 教授・船橋公彦
電話 03-3762-4151 内線 6530